

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	市営住宅解体・改修事業	1-1
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	建設水道部建築課	直通電話	72-3144
担当部長	南 治 彦	担当課長	佐々木 努
		担当者	佐々木 浩

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	老朽化した市営住宅の解体 各市営住宅の修繕等		
(2)事業開始年度	不明	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	1 安全・安心・快適なまち	
	施策項目(大)	(6)住宅・住環境の整備	
	施策項目(小)	公営住宅の整備と適正な管理	
	施策コード	10601	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	耐用年数を超えた不良住宅ストックの解消及び既存住宅の住環境の保全。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	老朽化した市営住宅の住環境の改善を図る。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	老朽化した市営住宅の建替えに伴う既存住宅の解体・改修工事を行う。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	厚田東団地2棟6戸、厚田西団地2棟8戸、別狩り団地2棟8戸を解体。
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	本市の市営住宅は老朽化住宅が多く、建て替えが必要となっている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	35,479	8,463	12,180	11,600
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	2,590	2,486	2,691	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	38,069	10,949	14,871	
事務に従事した正職員延べ人数	0.30	0.30	0.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区 分	H17	H18	H19	H20予算	支	区 分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入	計(B)	0	0	0	0	出	計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
市営住宅の戸数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	415	423	401	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
解体戸数 (目標値は耐用年数を経過している戸数)	目標値	257	225	225	205
	実績値	32	0	22	
	達成率	12.5	0.0	9.8	
水洗化戸数 (目標値は未水洗化戸数)	目標値	110	82	56	56
	実績値	28	26	0	
	達成率	25.5	31.7	0.0	
屋根・外壁の改修戸数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	2	0	0	
	達成率	-	-	-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である		
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である	総合評価の参考にしてください。	
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	7~11	A or B
	3 可能である	12~15	B or C
		16~21	D or E
		12	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		解体工事は合併前の旧厚田村における建替え計画に基づく継続事業で、平成19年度に解体工事を計画していたところであり、予定通り執行した。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		本市の市営住宅は耐用年数が経過した老朽化住宅が過半を占め、住環境の悪化が進んでいるが、莫大な事業費が掛かることから市の財政上なかなか建て替えが進んでいない。21年度については水洗化と外回りの改修工事に取り組み、中長期的な観点からは民間活用などいろいろな手法を模索しながら老朽化住宅の解消に努める。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		老朽化により改修戸数の増加が見込まれ、緊急性や優先度の高い住宅から改修を行う。	

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		市営住宅の多数が耐用年数を経過し老朽化が進んでいる状況を踏まえ、解体工事の推進に努めた。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		水洗化を推進し、使用可能な住宅については今後も修繕を実施し改善を図る。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		老朽化住宅戸が増加することから、維持補修を促進する。	